

備前市施策評価シート

【平成31年度作成】

| | | | |
|--------------|------------------|-----------------|---|
| 施策名 (小項目) | 地域に密着した医療サービスの提供 | 決算書 P120.106 | (款)4 衛生費 (項)1 保健衛生費 (目)1 保健衛生総務費 (款)3 民生費 (項)1 老人福祉費 (目)1 老人福祉総務費 |
| コード | 04-06-24 | 作成者 | 病院総括事務長 万波 文雄 (tel 84-2120) |

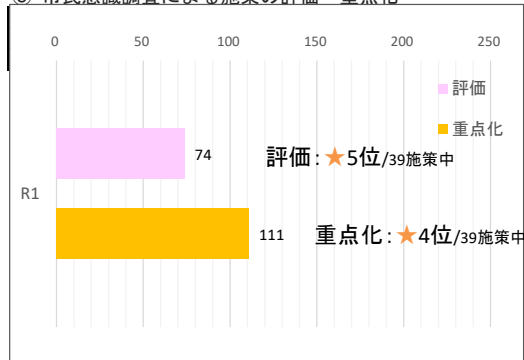
この施策のアピールポイント
備前市病院事業は市立3病院及び老人保健施設の備前さつき苑で構成されています。地域に密着した質の高い医療・介護・健診等のサービスが提供できるよう連携を深めています。市民が安心して生活を送ることができるよう救急医療体制の充実、市内の開業医、診療所との連携を図っています。また、備前さつき苑は、自立した生活を目指した効果的で適切な介護サービス、リハビリテーションを提供しています。

この施策の平成30年度の施政方針
地域に密着した医療サービスの提供につきましては、さらなる高齢化が進展する中で住み慣れた地域で自分らしい日常生活が送れるよう医療と介護、福祉等が連携し、地域包括ケアシステムの構築に努めてまいります。また、医療、介護サービスを将来にわたり安定して提供できるよう経営基盤の強化を図るとともに、地域の診療所等と一層の連携、協力により、地域医療の充実に取り組んでまいります。

＜備前市総合計画の内容から記載する＞

| | | |
|-----------------------------------|--|----------------------|
| ① 政策の体系 | 基本構想 (大項目) | 「安全・安心」 |
| | 基本計画 (中項目) | 「誰もがいつまでも安心して暮らせるまち」 |
| ② 対象と目的 (誰のために、何のために) | 地域住民の方々に安全で安心な医療を提供する。 | |
| ③ 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出) | 市立3病院の連携や機能分担を含め、より効率的な経営のあり方を検討し、持続可能で質の高い医療体制への転換が求められている。 | |
| ④ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出) | <ul style="list-style-type: none"> 医療スタッフの充実・人材育成 救急医療体制の充実 地域医療連携の推進 安定した病院経営の推進 在宅復帰支援の充実 | |

⑤ 市民意識調査による施策の評価・重点化



評価結果の分析
全施策中、第5位と高い評価を得ている。評価している市民を年代別にみると、40～59歳と60～74歳で全体の約85%を占めており、中高年齢者から評価されている。

重点化要望の分析
全施策中、第4位と医療サービスの充実に対する期待度の高さを示している。今後重点的に進めてほしいと考える市民を年代別にみると、40～59歳と60～74歳で全体の約85%を占めており、中高年齢者からの要望が多い。

⑥ 施策成果指標 (基本目標・基本施策・施策意図から設定)

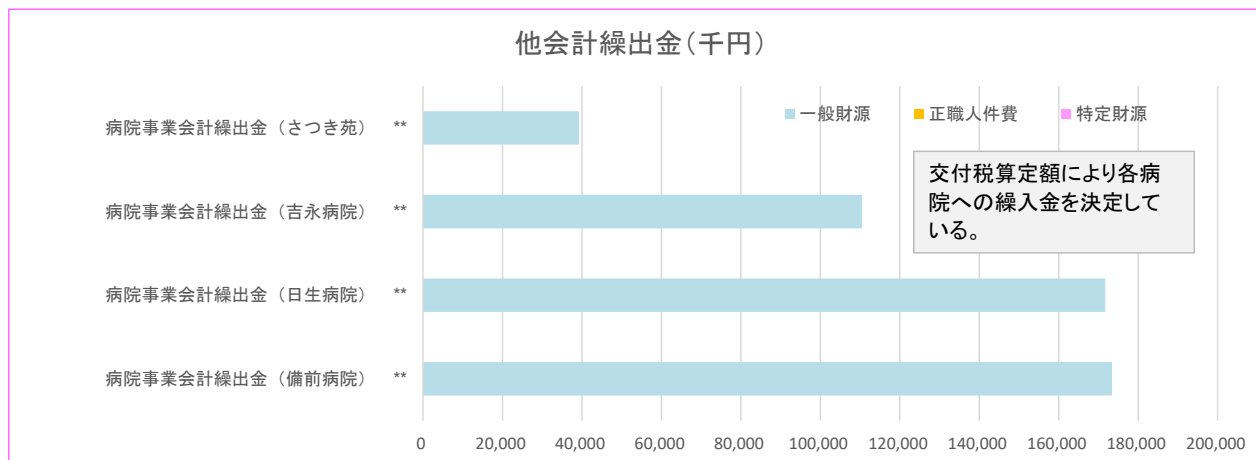
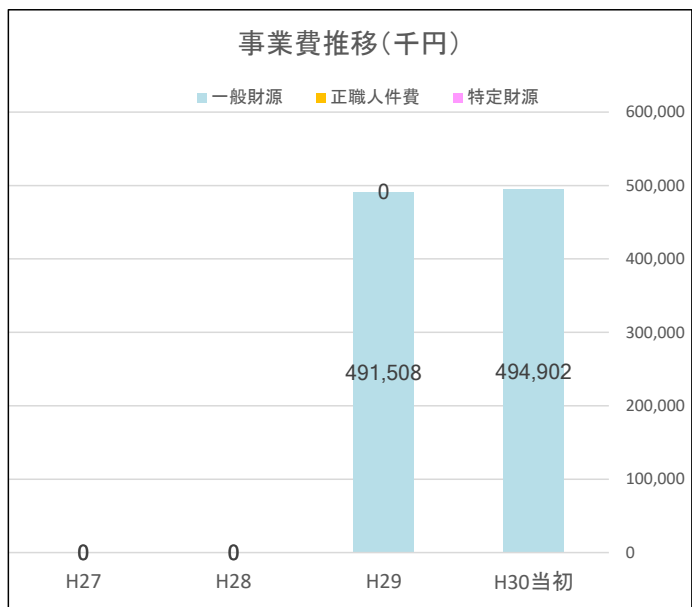
| 施策に対する成果指標名 | 単位 | 過年度実績 | | | 評価年度 | 成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明 | 目標値 |
|--|--------|-------|-------|-------|-------|---------------------------------|----------|
| | | H28 | H29 | H30 | | | |
| 100床当たりの医師数 | 目標 | 人 | 12.0 | 12.0 | 12.0 | ・年度末医師数÷病床数×100 | |
| | 実績 | 人 | 10.6 | 10.3 | 10.5 | ・H30 備前9.2人、日生6.0人、吉永21.2人 | R2 12.0 |
| | 達成率 | % | 88.3 | 85.8 | 87.5 | ・H29 備前8.8人、日生6.0人、吉永20.8人 | R4 12.0 |
| | ベンチマーク | | 7.4 | 7.9 | 8.0 | 前年度全国自治体病院(50床≤100床>)平均 | — — |
| 経常収支比率 | 目標 | % | 100.0 | 100.0 | 100.0 | ・経常収益÷経常費用×100 | |
| | 実績 | % | 100.7 | 100.4 | 100.2 | ・H30 備前96.60%、日生104.4%、吉永100.9% | R2 100.0 |
| | 達成率 | % | 100.7 | 100.4 | 100.2 | ・H29 備前100.0%、日生97.7%、吉永102.3% | R4 100.0 |
| | ベンチマーク | | 98.3 | 98.1 | 98.0 | 前年度全国自治体病院(50床≤100床>)平均 | — — |
| 病床利用率 (一般病床のみ) | 目標 | % | 90.0 | 90.0 | 90.0 | ・年延入院患者数÷年延稼働病床数×100 | |
| | 実績 | % | 78.5 | 75.8 | 76.3 | ・H30 備前73.4%、日生62.8%、吉永89.8% | R2 90.0 |
| | 達成率 | % | 87.2 | 84.2 | 84.8 | ・H29 備前71.9%、日生60.7%、吉永91.4% | R4 90.0 |
| | ベンチマーク | | 66.8 | 69.8 | 70.4 | 前年度全国自治体病院(50床≤100床>)平均 | — — |
| 救急搬送患者の受入割合 (東備消防組合管轄内 医療機関への救急搬送) | 目標 | % | 70.0 | 70.0 | 70.0 | ・3病院受入数÷管轄内医療機関搬送数×100 | |
| | 実績 | % | 65.1 | 66.2 | 65.6 | ・H30 備前15.4%、日生18.7%、吉永31.5% | R2 67.0 |
| | 達成率 | % | 93.0 | 94.6 | 93.7 | ・H29 備前17.8%、日生18.2%、吉永30.2% | R4 70.0 |
| | ベンチマーク | | 70.9 | 70.7 | 70.8 | 備前市/管轄内×100(各年10月1日の人口) | — — |

⑦ 目標達成に必要な新規事業 (施策構成事業以外の事業) 及び連携させる他部署の事業

| 実施主体 | 新規に必要な事業・連携が必要な事業 | 説明・期待される効果 |
|-----------|-------------------|---|
| 和気医師会・保健課 | 在宅医療・介護連携推進事業 | 市・医師会・医療介護関係機関が連携することにより、適切に在宅医療や家族の希望に沿った最適なサービスが提供できる |
| 介護福祉課 | 在宅医療・介護連携推進事業 | 地域包括ケアシステムが構築され、自分らしい人生がおくれるよう地域の包括的な支援・サービスの提供体制が整う。 |

⑧ 施策の評価

| 項目 | 評価 | 5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い | |
|-------------------------------------|---------------------|---|----------------------|
| | | 判断 | 理由 (なぜ、そのランクと評価したのか) |
| 1 <成果指標の妥当性> 施策の目的・成果を表現しているか? | 3 | 成果指標等については、医師数、経常収支比率、一般病床の病床利用率、救急搬送の応需実績を指標としているが、それぞれ医療体制の充実度、経営状況、入院部門における地域ニーズと医療サービスの適応度、公立病院が果たすべき救急応需の状況を示しており、指数、ベンチマークともに適正な判断基準となっていると考える。 | |
| 2 <事業構成の妥当性> 手段は最適か? | 3 | 事業構成は適当である。手段についても貢献度において効率性や採算性だけではなく、医療機能や住民福祉も考慮しており最適であるとする。 | |
| 3 <施策の有効性> 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは? | 3 | 病床利用率は全国平均を上回っているが、3病院とも当初の目標である入院・外来などの業務量に及ばない。経常収支比率においては日生・吉永病院が良好なものの、備前病院はわずかに目標に達していない。今後は原因を分析したうえで、更なる改善が必要である。 | |
| 進行年度(H31年度)の取組内容 (課題解決状況) | | 将来にわたり安定した医療、介護サービスの提供ができるよう経営基盤の強化を図るとともに、効率的な経営を行うため、3病院の事務機構の適正化と、将来的な統合を背景に、3病院の連携を深めるため、当面、北部は吉永病院を核に、南部は備前・日生の2病院を連携させるといふ、生活圏に合わせた運営に向けた準備を進めている。 | |
| 翌年度(R2年度)の取組目標 | | 引き続き安定した医療、介護の提供が出来るよう経営基盤の強化を図るとともに、医療・介護サービスの充実を目指す。北部は吉永病院、南部は備前・日生の2連携により、生活圏に合わせた運営を進展させる。また、住み慣れた地域で最後まで自分らしい暮らしができるよう地域包括ケアシステムの確立を目指す。 | |
| 二次評価者コメント | | 今年度の市民アンケート結果では、評価も今後の取り組みに対する期待度も高い結果になった。今後ますます、市民の期待に応えられる医療、介護サービスの提供に向け、医師を初め職員が丸となるための取組みが求められてくる。地域から信頼され、必要とされる病院となるよう引き続き、3病院はもちろん、周辺の病院、医療、介護施設等との連携を深め、地域包括ケアシステムの構築を目指す必要がある。 | |
| 役職 氏名 | 備前市病院事業管理者 荻野 健次 | 基本施策への貢献度 | 4 やや高い |



事業費
特定財源

4.9 億円
0.0 億円

